

導入事例

# JBS 社、RPA プログラムを通じて組織全体で 累計 400 万ドルを削減

## 組織概要

JBS 社は、アメリカをはじめ世界中に 150 以上の拠点を持つグローバルな食品会社です。米国で第 1 位の牛肉、第 2 位の豚肉と鶏肉の生産者として、毎日 2 億 600 万食以上のタンパク質を世界中の家庭に届けています。より持続可能な明日のために、責任を持って今日のおいしさを届けることに全力を傾けています。

## 課題

JBS 社は 2019 年、業務をより効率的で革新的な方向へ進めるためのプラットフォームの検討を開始しました。いくつかの事業部門が反復的な手作業を行っていることに気づきましたが、RPA によって組織全体でそれらの工程を自動化することができました。結果として RPA は、革新的な目標を達成するための極めて重要なツールとなりました。

“

当社は年間 100 万ドル以上の削減を目標としています。2020 年、2021 年、2022 年には、この目標を達成することができました。

Daniel Dinakaran 氏

JBS 社、ソフトウェア開発サー  
ビス担当 IT ディレクター

## メリット



**100 万**

前年比の削減額 (2020 年以降)



**210**

Bot の実行回数



**125,000**

60 FTE あたりの削減時間  
(2019 年以降)



**30**

市民開発者数

## 自動化されたプロセス

サプライヤーの未確認 PO 通知

ベンダー価格更新

ライブ生産量計算

税務報告

養育費の差し押さえ

解約システム工程

サンプル データ レポート

変更管理工程

海外発送文書

その他 200 以上の工程

## 業種

食品/飲料製造

## ソリューション

JBS 社は、自動化への方向性を推進するため、Automation Anywhere を採用しました。米国の 3 人とメキシコの 3 人のメンバーで構成される小規模な CoE を設立しました。パイロット プログラムをスタートさせ、ガバナンス、リスク コンプライアンス、セキュリティ プロビジョニングから、工程のディスカバリー、市民開発者のトレーニングまで、すべてを監修しました。現在、同社の米国および海外事業において、自動化の恩恵を受けていない部門は 1 つもありません。



Bot がどのように役立つのか、**内部監査部門**の担当者は懐疑的でしたが、現在では同部門の 2 つの工程を自動化しています。

**Vikram Tulsiani 氏**

JBS 社、RPA 管理者

## 顧客事例

Automation Anywhere と契約した後、JBS 社は自動化パイロットプログラムのために 4 つの工程を開始しました。これらの工程の 1 つは、調達部門における価格更新を処理するものでした。1,000 社を超える、ネットワーク内のベンダーの 1 社、または複数社から、更新された価格が毎日送られてきます。自動化以前は、従業員 2 名が、新しい価格を受け取り、SAP の要件に合わせて Excel ファイルをフォーマットし直し、SAP に入力し、契約が更新されるのを待ち、最後に有効期間を指定するという面倒な作業を行っていました。これで約半日を費やしていました。この手動工程を模倣するために Bot が導入されました。新しい価格を取得し、Excel ファイルを操作し、SAP に新しい価格を入力し、契約を更新し、最後にその契約を担当する各マネージャーに電子メールで通知を送信します。その結果、JBS 社が期待していた通り、年間 390 時間を削減することができました。

それ以降、さまざまな事業部門に価値の高い自動化が導入されました。カナダ支社では、Bot が国際貨物関係の書類を自動で作成しています。書類作成時のヒューマン エラーをなくしただけでなく、1 週間あたり約 220 時間、年間 \$250,000 CAD を節約しました。自動化によるメリットは、時間とコストの節約にとどまりません。牛肉加工工場では、歩留まりを計算する Bot を導入しました。現場の監督者が精肉担当者と協力して歩留まりを改善し、リアルタイムでカットを調整できるようにした結果、牛肉の歩留まりが効率化されました。

ソフトウェア開発サービス部門の IT ディレクター、Daniel Dinakaran 氏は、このプログラムが全社で盛んに採用されていることについて、次のようにまとめました。「2019 年から現在に至るまで、あらゆる部門で 212 台の Bot が稼働しています。RPA は組織全体で使われています。特定の部署や一部の部署に限定されているわけではありません」これは確かに、素晴らしい成果です。

## 今後の展望

JBS 社の自動化規模拡大のロードマップは、数年先を想定したものです。市民開発者トレーニングプログラムを拡大し、ユーザーに新しい事例を支持するよう促すだけでなく、大規模な自動化施策を進行中です。これは 2024 年の完了を見込んでいます。また、JBS 社はコア ビジネスにおいて RPA プログラムの浸透を成し遂げたと自負する一方、最近買収した国際的なビジネスにも自動化を展開し、それらの新しいビジネス ユニットを通じてさらに規模を拡大することを目指し、Automation Pathfinder Program の導入を検討しています。

### Automation Anywhereについて

オートメーション・エンジニアリングは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタル ワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere  [www.automationanywhere.com/jp](http://www.automationanywhere.com/jp)  [contact\\_japan@automationanywhere.com](mailto:contact_japan@automationanywhere.com)

 @AutomationAnwJP  [www.facebook.com/AutomationAnywhJP](https://www.facebook.com/AutomationAnywhJP)

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere、A のロゴ、Automation 360、AARI、A-People、IQ Bot、Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービスマーク、または登録商標・サービスマークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。